

洋舞公演・ダンスフェスティバル2018

11月10日(土) 18:00開場、18:30開演
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

今年度の「やまなし県民文化祭洋舞公演」は、昨年の公開講習会に続く、以前から課題である芸術文化協会会員の減少に対する試みの第2弾となり、県内で活動するスタジオに公募いたしました。しかし現実には厳しく、1団体（1作品）の応募にとどまり、今後の課題となりました。

県民文化祭は県内の洋舞の発展と、後進の指導・育成、県内団体の交流を目的とし、長い歴史を歩んできました。その中で、舞台制作には多額の費用が必要にもかかわらず、県の補助金は減少傾向にあります。県民のための文化祭であるのに、参加費用を多くしなければ公演ができないことも大きな要因であると思います。

「文化芸術基本条例」が施行された今年度、各自治体の芸術文化に対する考えが前に進むことを期待するところです。

参加団体	5団体
参加者数	約120名
入場者数	約700名



民謡民舞フェスティバル

10月14日(日) 12:30~16:00
 コラニー文化ホール・小ホール

参加促進事業

10月14日(日) 12:30~16:00
 コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

平成30年10月14日(日)コラニー文化ホール(小ホール)に於いて第18回民謡民舞フェスティバルが開催されました。

部門会派14団体、210名の参加となりました。第1部、第4部は、山梨の民謡をはじめ、全国各地で継承されている民謡、民舞、津軽三味線の合奏など、日頃の練習の成果を各団体が発表しました。第3部は、三味線や太鼓、尺八などの生演奏で唄と踊りの共演の舞台を披露しました。

また3部では、参加促進事業として、保育園児から高校生まで、23人が参加出演しました。銭太鼓による「花笠音頭」の賑やかな舞台や、三味線による唄と演奏、保育園児の皆さんの元気いっぱいの踊りと、若さ溢れる舞台に大きな拍手と声援が送られました。この舞台での経験がひとつのきっかけとなり、これからも民謡民舞を学び継承していってこれることに期待をし、ともに進んで行けたらと思っています。



- 民謡民舞フェスティバル
 - 出演団体……………14団体
 - 出演者数…………… 210名
 - 入場者数…………… 600名
- 民謡民舞フェスティバル
 - 出演団体数…………… 3団体
 - 出演者数……………23人

楽しい日本舞踊

平成31年 3月 3日(日)

13:30~15:30

甲府市中央公民館

開催状況

今回は「楽しい日本舞踊」とタイトルを変え、五節句のひとつ、桃の節句に開催しました。前回と同じく親子参加ということで四組の参加者が増え僅かですが指導者として嬉しい限りです。保護者の方々が增える事は様々の協力をいただける事や、子どもさんに対しても継続を促せる事にあります。いよいよ五月に元号が変わり、オリンピックも来年に開催されます。外国の方々が大勢訪れるでしょう。日本文化を研究して来ます。私達は自国の文化をもっと学ばなくてはなりません。私達日舞部門は様々な方法で日舞を広めていく活動をしています。この企画も活動の一つです。受講者の方々の着付けから入り、着物をきてでの作法を、小笠原流師範の「木村菱由」講師からの「相手を思いやることを形として」の心構えで実際に動きを入れて学びました。次にメインの日舞の稽古では、扇の開閉、足の運び、腰の落とし方、袖の持ち方の基本動作から男踊りの「尾上の松」をまったく初めての人、小三の男の子、七十代の方、各社中での人や様々な年齢の方々が繰り返し練習しました。歓談では爽やかな汗をかいた中、一言ずつご意見をいただいた中、楽しかったの言葉が多くあり、中には少し続けてやってみたい方、詳しく質問等があり、興味を持たれた方があり、成果のあった事を報告します。

指導者数..... 6名
参加者数..... 14名



朗読フェスティバル

11月23日(金・祝) 13:00~15:40
山梨県立文学館・講堂

夏の朗読教室

8月4日(土) 10:00~15:30
山梨県立文学館・研修室1・2・3

開催状況

・朗読フェスティバル

紅葉が彩りをそえる文学館・講堂に大勢の皆様をお迎えして開催いたしました。公募により幅の広い年齢層が集い交流の輪を広げることができました。

第一部は幼児から小・中・高校生で構成。参加促進事業の成果を元気に発表する小学生に大きな拍手が送られました。放送コンテストや総文祭で入賞した高校生の素直で伸びやかな表現は賞賛につつまれました。若い世代の活躍が山梨の朗読の発展に繋がることを期待します。

第二部は活動の実績をもつ経験者で構成し、多くの聴衆に成果を披露する晴れの舞台となりました。ヘレン・ケラーの自伝『私の生涯』の朗読はマスコミの話題を呼びました。

山梨の朗読は他県に類をみないほど裾野が広がりました。次の課題はレベルアップです。作品の内容を語ってイメージを伝えることは一朝一夕に習得しがたいものです。継続して指導者の養成に取り組んでまいります。

・夏の朗読教室

小学校の朝読書や読み聞かせを通して参加を募ります。楽しい体験がフェスティバルの舞台につながりました。



○朗読フェスティバル

出演者(組)数……………16組28名

入場者数……………354名

○夏の朗読教室

指導者数……………9名

参加者数……………68名

太鼓部門公演

11月25日(日) 12:00~16:30まで
コラニー文化ホール・小ホール

太鼓ワークショップ

8月19日(日)、9月16日(日)、10月21日(日)、11月11日(日)、11月18日(日)
13:00~15:30 天野宣音楽事務所

開催状況

第18回やまなし県民文化祭太鼓部門公演は11月25日コラニー文化ホール小ホールにて12時開場、12時30分開演にて多くの御来場いただき開催されました。

私ども太鼓部門は、演奏者、聴衆の皆様日本の伝統音楽である打てば響く、誰でも打てる打楽器、和太鼓の魅力を多くの方々に親しんでいただく事を一義にしております。今年は、昨年を上回る11団体の出演がありました。参加促進事業特別チーム、認定こども園甲府西幼稚園、三珠歌舞伎太鼓の会、高根ふるさと太鼓保存会、鼓摩の会和太鼓和楽、甲州ハツ嶺太鼓、襲・火男亀会、山梨県立韮崎工業高等学校太鼓部、天野宣記念山梨県太鼓交響楽団に加え農林高校郷土芸能部、30年度をもって閉校となる北杜市立高根北小学校太鼓隊が出演しました。各チームとも晴れの舞舞台の演奏に向けて昼夜を問わず稽古を重ね最高のパフォーマンスを披露でき、御来場いただいた方々にも各チームの和太鼓に寄せる熱い思いが伝わったものと感じております。このような機会を通して和太鼓に興味を持っていただき一人でも多くの仲間を増やしていきたいと考えています。太鼓部門一同、このような晴れの舞台での公演の機会を与えていただいている山梨県の生涯学習文化課の各位、出演者、裏方を務めていただいたチームの各位、歴代の部門長各位、故天野宣先生、中込顧問に対してあらためて深謝いたしますとともになお一層の和太鼓文化の発展と普及活動にますます専心努力して参る所存ですので、変わらぬご協力ご支援をお願いいたします。

○太鼓部門発表会

参加団体・出演者数180名(11団体)
入場者数…………… 730名

○太鼓ワークショップ

指導者数…………… 2名
参加者数…………… 14名



吟剣詩舞道大会

12月2日(日) 11:00~16:00
山梨県立文学館・講堂

第二部「君よ、大空に羽ばたけ」

12月2日(日)
山梨県立文学館・講堂

開催状況

第18回やまなし県民文化祭部門別フェスティバル吟剣詩舞道大会は12月2日(日)午前11時県立文学館講堂に於いて盛大に開催されました。開幕は平安様式の衣装を着た子供5人大人6人の合吟で朱熹作「偶成」少年老いやすくーを詩情豊かに吟じ、拍手喝采を浴びました。

第一・三部は「詩歌に親しむ」団体演舞で一年間の研鑽成果の創意工夫された作品を余す所なく堂々と発表し合い交流を図りました。

第二部は「君よ、大空に羽ばたけ」と題することも番組で司会、ナレ等自主運営、発表ができ、交流を深めました。その一「吟舞に親しむ」では、それぞれ自己紹介を含め吟詠・剣舞・詩舞の日頃の精進の成果を発表し合いました。その二「郷土を愛し、輪をひろげよう」では、郷土民謡「武田節」を剣舞・詩吟入りで発表、会場の皆さんと力強く歌い上げました。

第四部は「詩歌を愛す」18名の専門委員の先生方による詩心表現豊かな吟と舞を披露され大会が大いに盛り上がりました。

フィナーレは再度「武田節」を舞台、会場一体となって声高らかに歌い上げ、大成功裏に閉会いたしました。



○吟剣詩舞道大会

参加団体……………28会派
出演者数……………197名
入場者数……………130名

○君よ、大空に羽ばたけ

参加団体……………4会派
出演者数……………12名

第57回山梨県吹奏楽祭

甲府	平成31年2月11日(月祝)	開場12:30、開演13:00
	コラニー文化ホール	
中巨摩	平成31年2月11日(月祝)	開場10:20、開演10:30
	桃源文化会館	
峡東	7月15日(日)	開場12:30、開演13:00
	甲州市民文化会館	
峡北	平成31年2月11日(月祝)	開場11:45、開演12:00
	東京エレクトロン韮崎文化ホール	
峡南	平成31年2月3日(日)	開場12:30、開演13:00
	身延町総合文化会館	
南都留	平成31年3月17日(日)	開場11:30、開演12:00
	ふじさんホール	
北都留	平成31年3月17日(日)	開場12:30、開演13:00
	都の杜うぐいすホール	

開催状況

吹奏楽部門フェスティバルは、今年で57回目を数える山梨県吹奏楽祭を兼ねて開催されている。以前は県全体1会場で実施していたが、現在では7会場に分かれて各地域で実施されている（山梨県吹奏楽連盟の7つの支部がそれぞれ開催する形式）。小学校団体から一般団体まで参加しており、各団体の発表・交流の場として、また地域音楽文化への寄与の場として大きな役割を担っている。

インフルエンザの影響を受けながらも121団体、約2,400名の演奏者が集い、いずれの会場も大変な盛会となった。ソロ・アンサンブル・吹奏楽編成など様々な演奏形態で発表が行われ、選曲もクラシックからジャズ、ポップスまでと非常に幅広く、吹奏楽の魅力を十分に発揮する会となった。また複数の団体による合同演奏での参加も数多く、吹奏楽団体にとっても貴重な交流の場となっている。

出演団体	121団体
出演者数	2,406名
入場者数	約2460名



第18回山梨ポピュラー音楽フェスティバル

平成31年2月17日(日)

開場15:00、開演15:30

甲府市総合市民会館・芸術ホール

開催状況

第18回山梨ポピュラー音楽フェスティバル決勝大会は、平成31年2月17日(日)甲府市総合市民会館芸術ホールで開催した。

この音楽祭は、多種多様な音楽を通してのコミュニケーションの高揚と音楽文化の創造と育成を主旨として、生涯学習の充実、地域を愛する心の醸成を図ると共に、地域経済に文化が潤滑油として機能する、新しい地域創造を目指している。また、高い志を持って日夜音楽研鑽に励んでいる人たちを奨励する事と合わせて、更なる底辺の拡大も意図している。

今大会には、県内外から45組の応募があり予選のテープ審査を経て、12組が本大会に進み、楽曲編成、演奏技術、創造性などを審査基準として、グランプリ、優秀賞、奨励賞、審査委員特別賞を目指してパフォーマンスを展開した。

今回の特徴は、県外や山梨に移住し音楽活動をしている方からの応募が多くみられた。従来から地域での文化・芸術活動を活発に行っているグループやプロを目指しているグループの技術力の向上も顕著で、実行委員会として更なるバックアップの必要性を感じた。

この音楽祭の主旨が理解され、地域に定着、広く認知され開催できるのは、物心両面から支えていただいている協賛各社や実行委員各位のご理解の賜物と感謝している。

参加者数.....12団体 40名

入場者数..... 261名

入賞者

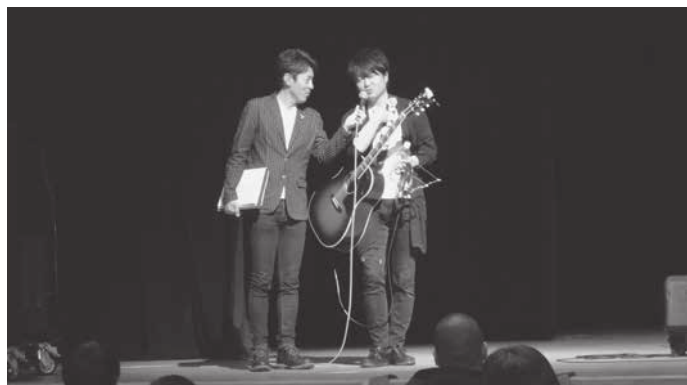
グランプリ：ダンデライオン

優秀賞：田島 茜

奨励賞：R.E.D.

審査員特別賞：

里吉 由衣・雨宮 理人



第11回アコースティック音楽祭

11月3日(日) 12:00開場、12:25開演
山梨市民会館

開催状況

今年とは昨年度と同様に山梨市民会館にて、「第11回アコースティック音楽祭」を開催しました。ウクレレ、オカリナ、ケーナなど多種多様な民族楽器により、フォルクローレなどの民族音楽だけでなく、ポピュラー音楽、歌謡曲、童謡など様々な楽曲が演奏され、会場は終始癒やしのムードに包まれていました。

出演団体数	13団体
出演者数	64名
入場者数	120名



第11回甲斐の国ジャズフェスティバル

10月21日(日) 12:00開場、12:25開演
甲斐市双葉ふれあい文化館

開催状況

第11回目を迎えた「甲斐の国ジャズフェスティバル」を甲斐市双葉ふれあい文化館で開催しました。7バンド129名、小学生から80歳過ぎの方まで、幅広い年齢層が参加し、年代を超えて、交流を深めました。聴衆の心をつかむ見事な演奏が、会場いっぱいに響き渡りました。会場に駆け付けた観客からは、このフェスティバルをますます盛り上げてほしいとの期待の声が寄せられました。

出演団体数	7団体
出演者数	129名
入場者数	330名



第10回ゴスペル・アカペラフェスティバル

7月21日(土) 14:00開場、14:25開演
甲斐市双葉ふれあい文化館

開催状況

第10回という節目を迎えたゴスペル・アカペラフェスティバルは、昨年度と同様甲斐市双葉ふれあい文化館にて盛大に開催されました。今年は例年にも増して、16団体192名が出演し、美しい歌のハーモニーと生き生きとした笑顔のパフォーマンスで会場を盛り上げました。フィナーレのマスクワイヤでは、10回目の記念として行ったワークショップ参加者も出演者とともに歌声を披露し、会場全体が一体となってフェスティバルを締めくくりました。

出演団体数	16団体
出演者数	192名
入場者数	250名



第10回ロックフェスティバルin桜座

11月17日(土) 11:30開場、12:00開演
桜座

開催状況

第10回となったロックフェスティバルは、これまでと同様に桜座を会場に開催しました。公募により審査を通過した12団体が集い、オリジナル曲やカバー曲を披露し、8時間に渡って熱いステージが繰り広げられました。それぞれの団体にそれぞれのカラーと工夫が見られ、8時間という長丁場でも観客を飽きさせないステージとなりました。今後は、さらに若年層の取り込みを図りつつ、山梨のロック文化を広めていきたいと思ひます。

出演団体数	12団体
出演者数	54名
入場者数	220名



やまなし
第5回月見里みんなのコンサート

10月8日(月・祝) 12:30開場、12:50開演
 甲府市総合市民会館

開催状況

第5回目となった「月見里みんなのコンサート」は、会場を甲府市総合市民会館に移して開催しました。ジュニア・学校合唱団4団体、大人の合唱団16団体が集い、日頃の練習の成果を存分に発揮し、美しい合唱が会場中に響き渡りました。会場が県内を一巡したということで、今回で区切りとなりますが、今後もそれぞれの合唱団が各地域で合唱の輪をさらに広げ、活発に活動していけたらと思います。

出演団体数……………20団体
 出演者数……………492名
 入場者数……………200名



参加促進事業の状況

●部門	●開催内容	●開催日	●場所	●指導者・ 出演者数	●参加者・ 入場者数	
美術	染色体験教室 藍染めに挑戦	8月12日(日)	山梨県立美術館・ワークショップ室	2	41	
書道	自分の書を使いオリジナルカレンダーを制作	12月23日(日)	山梨県立美術館・ワークショップ室	6	135	
写真	プロの写真家による写真講座	11月17日(土)	山梨県生涯学習推進センター・交流室A・B	1	65	
華道	誰でも参加できるいけばな体験教室	4月21日(土)、22日(日)	岡島百貨店7階大催場	34	120	
フラワーデザイン	フラワーデザイン作品制作体験	11月10日(土)～11日(日)	遊亀公民館展示室	8	51	
ハンドクラフト	クレイアート・アメリカンフラワー作品制作体験	8月5日(日)	遊亀公民館講義室	12	65	
文学	川柳講演会	9月16日(日)	甲府市総合市民会館3階大会議室	1	109	
茶道	茶道の基本作法を学ぶ体験教室	12月2日(日)	素心菴(芸術の森公園茶室)	8	100	
音楽	高校生以下の若手演奏家によるコンサート	平成31年1月27日(日)	甲斐市双葉ふれあい文化館	13	300	
邦楽	箏のワークショップを行い、ステージで発表	8月11日(土)、18日(土)、9月8日(土)、29日(土)、10月6日(土)、14日(日)	コラニー文化ホール・小ホール	10	700	
民謡民舞	こどもたちが民謡などをステージで発表	10月14日(日)	コラニー文化ホール・小ホール	23	600	
日舞	日舞を通して着付けや着物での所作、礼儀作法等を体験	平成31年3月3日(日)	甲府市中央公民館	6	14	
朗読	青少年を対象とした朗読教室	8月4日(土)	山梨県立文学館研修室	9	68	
太鼓	太鼓のワークショップを行い、ステージで発表	8月19日(土)、9月16日(日)、10月21日(日)、11月11日(日)、18日(日)	コラニー文化ホール・小ホール	2	730	
吟詠詩舞	こどもたちが吟詠剣詩舞をステージで発表	12月2日(日)	山梨県立文学館講堂	12	130	
				計	147	3,228

部門別フェスティバル受賞者一覧

■県民文化祭賞

部 門		
音 楽	ピアノ	渡邊 朋恵
写 真	モノクロ単写真	三澤 久
美 術	工芸	森 洋
書 道	漢字	日永田恵草
文 学	小説	紺青 佳之
〃	児童文学	北山 葉一
〃	エッセイ	中込 和代
〃	詩	浅利ひろ子
〃	短歌	飯島 公子
〃	俳句	保科美知代
〃	川柳	浅川のぼる

■準県民文化祭賞

部 門		
音 楽	ソプラノ	守木 詩織
写 真	組写真	中澤香代子
書 道	かな	伊藤 裕之
文 学	短歌	進藤 通子

■県民文化祭優秀賞

部 門		
音 楽	バリトン	植田 大樹
〃	ピアノ	山田真理子
写 真	モノクロ単写真	野沢 宏旦
〃	〃	広瀬みち子
〃	カラー単写真	田中 晃幸
〃	〃	広瀬みち子
〃	ネイチャー単写真	三澤 久
〃	〃	内藤 均
〃	組写真	小林 敬子
〃	小中高生	名取 慧斗
〃	〃	中澤 暖太
美 術	油彩	坂本 伶菜
〃	〃	梶原 丈義
〃	〃	佐藤久美子
〃	〃	中井 秀子
〃	〃	田中 實
〃	〃	中村 靖
〃	〃	真壁 芳子
〃	日本画	七沢 多紀
〃	版画	菊島ちひろ

部 門

美 術	工芸	藤田 武男
書 道	漢字	丸山 樂水
〃	〃	高野 健治
〃	〃	安部 彩華
〃	〃	渡辺 協子
〃	〃	柿崎 菜穂
〃	一字書	佐藤 静波
〃	〃	小林 耿舟
〃	調和体	森澤 津留
〃	かな	依田 秋華
文 学	小説	デシレー・サンチェス・イ・アルメンタ
〃	児童文学	沢島 一郎
〃	エッセイ	渡辺 久子
〃	詩	石原かずこ
〃	〃	藤井 工人
〃	短歌	小俣はる江
〃	〃	山本 栄子
〃	〃	坂本千津子
〃	〃	依田 邦恵
〃	〃	角田 好弘
〃	俳句	深沢 幸枝
〃	〃	越石 一彦
〃	〃	八代菜美子
〃	〃	有泉 政弘
〃	〃	渡辺伊勢乃
〃	〃	内田 幸子
〃	川柳	藤巻 朱實
〃	〃	古屋富佐子
〃	〃	小川富士子
〃	〃	深澤 弘
〃	〃	風間なごみ
〃	〃	鶴田 甲敬
〃	〃	饗場 導代

□第18回山梨ポピュラー音楽フェスティバル

グ ラ ン プ リ	ダンデライオン
優 秀 賞	田島 茜
奨 励 賞	R.E.D.
審 査 員 特 別 賞	里吉 由衣・雨宮 理人

(総 合フェスティバル集計 出演(出品)者数 335名 来場者数 1,920名 参加者数 2,255名
 部門別フェスティバル集計 出演(出品)者数 6,892名 来場者数 19,380名 参加者数 26,272名)